

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 平成 27 年 4 月 3 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
三重大学医学部附属病院がんセンター	
企画名	
第 8 回市民公開講座 知ってほしい 緩和ケアと小児がん	
事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
県内全域の病院、診療所、薬局、保健所、道の駅、図書館等に送付 新聞 津市の広報誌 三重大学病院、がんセンター各ホームページ	
当日の実施内容について	
日時(期間)	平成 27 年 3 月 1 日(日)
実施場所	三重県総合文化センター 中ホール
参加人数	150 名
具体的な実施内容： 「日本小児がん研究グループ(JCCG)の発足ー小児がんの克服を目指してー」 日本小児がん研究グループ理事 三重大学理事・副学長 堀浩樹 「三重大学の小児がんの取組み、拠点病院指定について」 三重大学大学院医学系研究科 小児科学分野 准教授 平山雅浩 「小児がんの緩和ケアと在宅医療の取組みについて」 三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター長 岩本彰太郎 「がんと付き合う心の養生」 三重大学医学部附属病院 臨床心理士 中西健二 「診断時からの緩和ケア～がんに負けないサポート～」 三重大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 松原貴子 パネルディスカッション	
効果について(アンケートの結果など)	
30 代～70 代の方が来場され、9 割以上の方から高評価をいただいた。感想として、「緩和ケアについて誤解しているところがあり、最後の砦だと思っていた」「がんとわかった日から緩和ケアが受けられることがわかった」「緩和ケアとは終末期の患者に対してのサポートだと思っていた」「気持ちが楽になった」等の声が寄せられた。	
その他報告	
なし	

